

クラス番号	222	ゼミタイプ	サービスラーニング型
		担当教員名	両角達平
テーマ	知多半島における子ども・若者の参画		

ゼミナール概要

この演習は、知多半島にある多様な背景をもつ子ども・若者と関わる NPO や地域団体の活動にかかわりながら学ぶ演習です。

はじめに、知多半島の地域のニーズを把握し、何が求められているのか、何ができるのかを組織で働くスタッフとの対話を通じて探っていきます。その中で、大学生という若者の当事者として強みを活かしてできることを考えます。そのうえで、夏に実施する地域活動の企画の準備をします。

次に、夏休みの間に現場に出向いて、企画した地域活動を5日間実施します。活動後には、現場のスタッフや、他の学生とともに振り返りを行い、学びに落としこみ、新たな問いを立てたり、課題の解決策を考えたりします。最終的には報告会を実施後、個人レポートを作成し、これまでの学びを次につなげていきます。

授業計画：

- 4・5月 地域ニーズの把握（NPO や地域団体の取り組み、地域の課題や展望を把握する）
- 6・7月 地域活動の企画（自分たちで何ができるかを考え、計画を立てる）
- 8・9月 地域活動の実施（5日間）
- 10・11月 地域活動のふりかえり・問いを立てる・解決策を考える（活動先のスタッフを交えて）
- 12・1月 報告会・個人レポートの提出

担当教員からのメッセージ

私の研究している、ユースワークは若者や社会に働きかけ、若者が自分自身にかんすることや地域社会の決めごとに参画することを促進します。人々の居場所をつくり、人生の道筋をみつけ、それを支援することで、若者と社会の発展に寄与することを目指す実践です。私自身、学生時代にユースワークに出会い、実践してから、国内外問わず様々な現場をみてきました。知多半島の NPO の現場で自分たちができることを考え、実践するゼミにしましょう。